

## 第2回 広陵町政策推進審議会 B部会 議事要旨

I 開催日時 令和7年12月1日(月) 午後3時00分から午後5時00分まで

II 開催場所 広陵町役場3階 第1委員会室

III 出席者

<委員>4人

岡野部会長、杉本(洋)委員、藤山委員、渡辺委員

<担当課>6人

社会福祉課長

介護福祉課長

保険年金課長

安全安心課長

協働のまちづくり推進課長

協働のまちづくり推進課係長

<事務局>5人

総合政策課 芝課長、岡崎、河井

フォーティエンスコンサルティング株式会社 高橋、虻川

IV 次第

1 開会

2 部会長あいさつ

3 中期基本計画素案(基本目標3、4、5)についての審議

4 その他

5 閉会

<配布資料>

第2回B部会資料:中期基本計画素案(基本目標3、4、5)

V 議事内容

1 開会

2 部会長あいさつ

皆様本日もご多用の中ありがとうございます。B部会2回目となっています。B部会は基本目標3、基本目標4、基本目標5の三つの基本目標の審議を行うこととなり、教育福祉、まちづくりに関する非常にボリュームのある部会となっています。

本日もぜひ皆様から忌憚のない意見をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

### 3 中期基本計画素案（基本目標 3、4、5）についての審議①

○事務局から中期基本計画素案（基本目標 3）（第 2 回 B 部会資料）について説明

【資料・説明を踏まえた質疑応答】

（A 委員）

施策 3-2 の部分で若者を付け足されたということだが、子どもが何歳までか、若者が何歳までなのか教えていただきたい。

（事務局）

子どもが 18 歳、若者が 39 歳までと聞いている。

（B 委員）

最後の方で説明していた給食残食率が高い状況ということだったが、大阪市よりはだいぶ低く、何を基準に高いという判断をされているのか伺いたい。関連して 11 ページの給食費の無償化は、家庭負担を軽減し、保護者が他の教育に関することにお金を使えるようにするということか。

（事務局）

意味合いとしてはそのように聞いている。

（B 委員）

行政の文書として給食費が浮いた分は他の教育費に充てるというようなことを記載して良いのかということを考えていた。資金を確保できるようにするというのをわざわざ書く必要があるのかと個人的には考えている。

（事務局）

残食率については無償化すると残食が無駄遣いになってしまうというところがあるため、このような指標を設けさせていただいている。この値が高いかどうかについては今後検討が必要かと思う。

小学校低学年の残食率が高くなってしまいう傾向にあることが分かったためそこへの対策を行っていく必要があることが分かった。

また、給食無償化も現在のところ、令和 8 年度までの予定となっている。

（C 委員）

現在、給食センターは香芝市と共同利用であるため、香芝市とは比較することができ、香芝市よりは高いということが分かっている。残食率について、以前 10% 近くだったものが 8.1% 近くになっている。

（A 委員）

低学年の残食率が高いということだが、総量のコントロールはできないのか。

（担当課）

基準の摂取カロリーがあるため計算して必要な量を出していると思われる。

(C 委員)

ヤングケアラーの支援が書かれており、主要課題の部分に早期発見と支援体制の構築が急務である旨記載されているが、展開方向のところに相談体制をどうするか等の具体施策を入れた方が良いのではないかと考えている。二点目は、10 ページの一番上のコミュニティ・スクールなど地域と連携した「生きる力」を育むための教育活動の強化の展開方向のところ、対応している指標が 12 ページの 1 番上、地域ボランティアが授業や学校行事に参加した回数となっている。この指標の削除を検討しているとのことだが、地域クラブの活動の地域移行などもあったものの、授業内で地域の方にお話しいただくとか農業に関することとお話しいただくとかもあると思うため削除しない方が良いのではないかと考えた。

(事務局)

担当課長が欠席しているため持ち帰らせていただいて、検討させていただく。

(D 委員)

コミュニティ・スクールについて、組織化が地域（小学校区）によって差があると感じている。各学校でのコミュニティ・スクール、ボランティア同士の連携や組織化ができれば良いのではないかと思う。

(事務局)

こちらも担当課長が欠席しているため持ち帰らせていただいて、検討させていただく。

(D 委員)

ほかに何かあるか。なければ次の基本目標 4 について事務局から説明願う。

(委員一同)

了解。

### 3 中期基本計画素案（基本目標 3、4、5）についての審議②

○事務局から中期基本計画素案（基本目標 4）（第 2 回 B 部会資料）について説明

**【資料・説明を踏まえた質疑応答】**

(B 委員)

3 ページから 4 ページにかけて災害時の相互応援協定の締結について、どのような主体が提携先に多いのかということをお話していただきたい。例えば民間事業者であったり、ほかの自治体であったりとかの内訳が分かればお話をしたいのが一点。

また、14 ページで展開方向の指標の部分でかかりつけ医を持っている住民の割合の指標を消す理由について伺いたい。

25 ページの施策の 4-6 の地域福祉の充実で赤字になっている部分は文章表現として根本的に適切ではないのではないかと考える。複合的な要因により生活苦になるケースがあるということだったが、行政等のサービスの質が低下するという話の中でそれに

続く文言が地域における助け合い精神に丸投げするような文章となっているように思う。むしろ複合的な要因を持つ方は専門的な介入、行政等が対応する必要がある話であるし、重層的支援体制整備事業を本格的に実施しようとしているという話がある。「断らない相談支援」というのが重層的支援体制整備事業の主な柱だと思う。その点25ページの赤字の書き方は誤解を招きかねないと思うため書き方について検討をお願いしたい。

施策4-7について28ページ、社会保障の適正運用の部分に赤字で子どもの貧困対策の必要性について書かれているが、ここに入れた趣旨が何か。適正運用ということになると、言葉のニュアンスの中に濫給を防ぐために社会保障の支出を抑え保険を狭めていくというものが入ってしまうと考える。内容としてはそのようなものではないと思う。適正化という言葉はとにかく厳しくしていくという方向に行ってしまうがちなため、この用語を使うのかということはあるが、施策4-7の位置付け若しくは用語の問題があると考えます。

(担当課)

相互応援協定の内訳については出ていないが民間や自治体両方について災害時に必要な様々な能力を持った方の派遣について結んでいる協定と災害時に必要な物資、例えば食べるための器、消火用ドローンなどのモノの協定がある。内訳は後日どのような内容か事務局を通して委員に伝える。⇒担当課が会議中に一覧を示して説明済み

(C委員)

この説明の部分に別に具体例として表示していただいた方が分かりやすいと思う。

(事務局)

かかりつけ医の指標について、担当課は不在だが、現状としては、住民の主観として、かかりつけがいると思っている数で測っており、毎年アンケートを行っているが客観的に測れないため、診療所の確保等体制を整えるという趣旨で、当該指標は削除させていただく。

(C委員)

25ページ赤字部分については検討していただいて文言の修正をしたら良いかと思う。

(担当課)

承知した。修正する。

(事務局)

28ページの子どもの貧困対策に係る記載は、記載箇所が誤っていると思われる。担当課に確認する。

(A 委員)

20 ページの「ハードルが下がって」という文言だが、何のハードルかというところになる。理解はできるのだが、「理解が深まった」というような書き方とした方が良いかと思う。

(C 委員)

書き方の問題かと思う。福祉の分野として当事者の方の苦しみが解放されたというような書き方が重要だと考える。

(担当課)

承知した。修正する。

(D 委員)

22 ページの福祉サービス提供事業所数と受入定員数という指標があるが実際どの程度満足されているのかが見えない気がする。差し当たって、割合でいうとどの程度サービスを受けられているかということについて教えていただきたい。

(担当課)

待機児童はいないのだが満足度というところになるとアンケート調査ということになるか考える。検討させていただく。一部の人気の保育所で待機児童が出たとしても、半年待つ必要があるということではなく2か月等で済むようになっている。

(C 委員)

7 ページの赤字の特殊詐欺被害の文言の部分について「等」を追加した方が良いのではないか。

29 ページの個々の低所得世帯の理解率についてそのような調査をしていたとしても偏見を生む危険性があるため書き方に配慮した方が良いかと思う。アメリカの大学の研究で学力に関して高所得者が高いということはなかったというものがあつたと思う。書き方を変えなくてはならないかと思う。

(事務局)

事務局が担当課にヒアリングしたときに指摘したが、今作っている計画に必要な指標となっているということを聞いた。

(B 委員)

クロス集計でこのようになったというところか。

(事務局)

お見込みのとおり。個別計画ほどその背景が書かれていないこともあり、合致しにくいものもあるため、代替指標等がないか担当課に確認する。

(D 委員)

ほかに何かあるか。なければ次の基本目標5について事務局から説明願う。

(委員一同)

了解。

### 3 中期基本計画素案（基本目標 3、4、5）についての審議③

○事務局から中期基本計画素案（基本目標 5）（第 2 回 B 部会資料）について説明

【資料・説明を踏まえた質疑応答】

（B 委員）

7 ページのところの集会所の活用状況、利用状況はどのようなものか伺いたい。

（担当課）

各大字やイベントの際に活用しているというところではあるが、実際どのように、どの程度活用されるのかを調査するアンケートを来月実施に向けて作成しているところである。

（D 委員）

8 ページの維持管理費について、予算上の制限もあると思うが、公民館や集会所の維持管理改修補助の実績を減らしていくということで間違いないか。

（事務局）

担当課長が欠席しているため持ち帰らせていただいて、確認させていただく。

（A 委員）

10 ページの体育館の利用率について、令和 6 年に使用料を改定したことにより利用率が減少しているとあるがどうなのか。

（事務局）

明確な因果関係があるとは言えないのだがそう判断せざるを得ないというところかと思う。

（C 委員）

18 ページの外国人との共生に向けての施策の部分で、「国では深刻化する人手不足等を背景に」というような記載があるが、人手不足で呼ばれただけというふうに受け取られる可能性があるため、この箇所は削除しても良いかと考えている。

（担当課）

承知した。削除する。

（B 委員）

国はそのような方針だとしても自治体としては 1 住民として受け入れていくというように記載した方が良いかと思う。

（C 委員）

中期基本計画素案全体について問題ないか。

（委員一同）

問題なし

#### 4 その他

- ・議事要旨及び資料の公表について
- ・次回以降の日程について（12月23日火曜日午後3時から）
- ・行政評価に係る部会について（1月中又は2月中旬以降に実施予定）

#### 5 閉会

（以上）